

パブリック・ディベートテーマ

だつたんそしゃかい　じつげん　む
一脱炭素社会の実現に向け、山口県で何をすべきかー

げんざい　ちきゅうおんだんか　もんだい　げんいん
現在、地球温暖化が大きな問題となっています。その原因として考えられているのが温室効果ガスです。その中でも、にさんかたんそ　えいきょう　もっと
二酸化炭素の影響が最も大きくなっています。にさんかたんそ　ねんりょう　も　じどうしゃ　うんてん　せきたん
二酸化炭素は、ガソリンなど燃料を燃やす自動車を運転したり、石炭などのねんりょう　も　でんき　はっせい　りょう
燃料を燃やして電気を作り出したりするときに発生しますが、その量をへ　ひつよう
減らしていくことが必要です。

そのため、山口県では「ぶちエコやまぐち」をあいことば　けんみん　ちきゅう
を合言葉に、県民一人ひとりが地球
おんだんかたいさく　みずか　すす
温暖化対策に自ら取り組むこと（ゼロカーボン・チャレンジ）を進めています。

では、にさんかたんそ　だつたんそしゃかい　じつげん
二酸化炭素をなるべく出さない脱炭素社会を実現するために、わたしたち
はどのようなゼロカーボン・チャレンジができるでしょうか。

大人だけでなく、みなさんに考えてもらうことは、とても大切なことです。

これらをふまえて、い　か
以下のような問いに答えてみましょう。

パブリック・ディベートの問い

だつたんそしゃかい　じつげん
脱炭素社会を実現するために、

(1) わたしたちはにちじょうせいかつ
日常生活で、何をすべきでしょうか。

(2) けんみん　りかい　こうどう
県民に理解してもらい、行動してもらうために何を行うべきでしょうか。

『山口県ならではの』というアイデアを、りゆう　ていあん
理由と一っしょに提案してみましょう。